

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	医療やリハビリなどの専門職との連携により利用者へ手厚い支援が提供できており、各種のサポートは利用者の安心感を高めています
	内容	事業所では看護師が6名ローテーションで配置され、利用者から健康相談を受けた際にもスムーズな対応が図れる強みがあります。必要に応じて看護師から通院、服薬、バランスの良い食事摂取等について個別に助言などを送ることで利用者の安心感を高めています。また、事業所敷地内に隣接するクリニックの嘱託医とも日頃から連携が図れる体制を築いています。さらに従前より取り組んでいるST(言語聴覚士)やPT(理学療法士)からの訓練も受けられる体制が整っています。専門職との連携により利用者へ手厚い支援が提供できています。
2	タイトル	毎月メンバー懇談会を定例化しており、利用者本人が直接、意見や要望を表出できる機会を大切にしています
	内容	事業所では、「個人の尊厳」、「自立の尊重」を大切な考えの中に置いています。開設当初から利用者の意思を尊重していくこと、利用者の要望を表出できる環境を大切にしています。具体的に利用者の意見や要望が表出できるように、毎月利用者を交えたメンバー懇談会を開催し、事業所から今後の行事予定を説明したり、毎月テーマを決めて、利用者自らが意見や要望を気軽に表出できる場として継続して取り組んでいます。事業所内でのレク活動や行事なども利用者も企画の段階から参画でき、利用者の意欲の向上にもつながっています。
3	タイトル	事業所の取り組みを多くの方に知って頂けるように、ホームページを定期的に更新して、最新情報を積極的に発信しています
	内容	今年度ホームページが改訂され、法人が運営する各事業所の詳細のほか、「六三四通信」のコーナーでは各事業所での取り組み内容を発信しており、お楽しみ会の内容や移動水族館を呼んでみんなで楽しんだ様子など定期的に発信しています。さらにホームページからは年3回発行している「六三四たより」のダウンロードが可能なほか、革工芸で利用者作った作品をギャラリー形式で作品を発信しています。利用者の日々の成果なども含めて多くの方に事業所の内容を知って頂けるように、ホームページを定期的に更新して、最新情報を積極的に発信しています。
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	個別支援計画書に明示している期間について具体的にいつからいつまでかを明示できると良いと思われれます
	内容	アセスメントで抽出した現状や課題を踏まえ、利用者一人ひとりの個別支援計画を作成し支援方針を明確にしています。個別支援計画には利用者及び家族の要望、支援目標と課題、具体的な課題及び支援計画等を記し、要望実現のための具体的な課題、支援内容、支援期間、優先順位について具体的に定めています。個別支援計画は6ヶ月毎モニタリングを行い、年に一度見直ししています。今後に向けては個別支援計画書に明示している期間について具体的にいつからいつまでかを明示できるとよいと思われれます。今後の取り組みを期待します。
2	タイトル	事故につながる恐れのある危険事例を積極的に「ヒヤリハット報告書」に上げ、事故予防の意識が全体で高まることを期待します
	内容	事業所内外で発生した事故については軽微な事故は「トラブル報告書」、重大事故は「事故報告書」を作成し、今後の対策を講じ、事故につながりやすい事例は「ヒヤリハット報告書」を作成しています。しかしながら事故の予防につなげるヒヤリハットの提出が全体的に少ないことが課題となっています。今後に向けては事故につながる恐れのある危険事例についてより積極的に「ヒヤリハット報告書」に蓄積できるとよいと思われれます。事故を予防するための手段として効果的な活用につながるように、より積極的な危険事例の提出を期待します。
3	タイトル	
	内容	